

ヒトの脂肪膵と膵臓がんとの関連に関する研究

1. 研究の対象

2002年1月-2025年3月に国立がん研究センター中央病院（当時の名称：国立がんセンター中央病院）にて、膵臓がんもしくは胆管がん等と診断され、膵臓を切除された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

膵臓がんは早期発見、早期治療の難しいがんとして知られており、膵臓がんの予防は重要な課題であるといえます。近年、ヒトの膵臓に脂肪細胞が浸潤することが明らかになり（脂肪膵）、加齢や糖尿病が関与する可能性が報告されています。しかしながら、脂肪膵と膵臓がんとの関連は明らかになっていません。本研究では、膵臓がんとそれ以外の膵臓摘出患者さんの脂肪膵の度合いと関連因子を調べ、膵臓がんとの関連を明らかにすることを目的としています。具体的には、対象患者さんの膵臓病理標本やCT等の腹部画像情報を用いて脂肪膵の度合いを評価し、膵臓がんとの関連を調べます。また、臨床情報（カルテ）及び血清や手術検体の残余試料に含まれるタンパク質やDNA等の解析結果から、患者さんの背景や脂肪膵に関連する因子を探索し、脂肪膵の度合いとの相関や膵臓がんとの関連を調べます。ヒトの脂肪膵の原因や膵臓がんとの関連が明らかになれば、がんの発生・進展に関する研究が進行し、がんの予防、診断、治療法の開発に寄与できることが期待されます。また、病理標本とCT画像を合わせて解析することにより、膵臓の脂肪化を適切に評価できる画像診断法を開発できれば、膵臓がんの高危険度群を画像診断によって抽出できる可能性があります。

研究実施期間：15年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別・年齢・病歴・飲酒喫煙歴・傷病の家族歴・身長・体重・生化学データ・CT等の腹部画像を含む患者臨床情報、カルテ番号、病理検体番号等

試料：手術で摘出した組織、そのホルマリン固定標本及び血清試料の残余、新包括的同意（2011年5月13日以降）の下に採取された研究用採血検体由来のDNA等

4. 試料・情報の公表

研究成果は学術論文として発表し、医療の進歩のために還元します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター 研究所 動物実験施設 高橋 真美（研究責任者）

TEL：(03)3542-2511 内線 3415 FAX：(03)3542-2548